

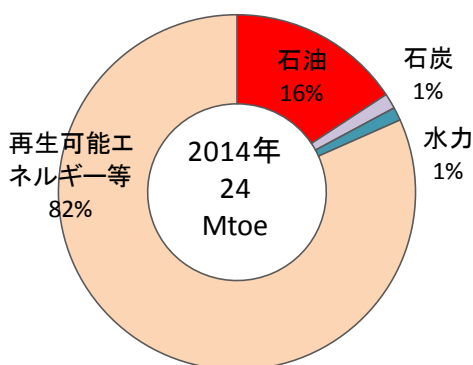
5-11 ケニア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 24 百万 toe (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.53toe (日本の 0.15 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 83%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 12.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 0.28 CO₂ 換算 ton (日本の 3.0%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油、天然ガス、石炭とも NA

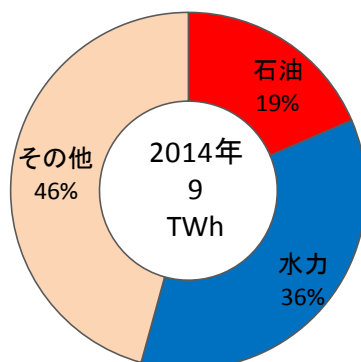
一次エネルギー供給構成 (2014 年)



Country: Kenya

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



Country: Kenya

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- ケニアのエネルギー行政は、エネルギー石油省 (Ministry of Energy and Petroleum) が管轄している。エネルギー石油大臣は、Charles Keter 氏である。他の関連機関は、環境・水・天然資源省 (Ministry of Environment, & Natural Resources) <大臣: Judy W. Wakhungu 氏>、鉱業省 (Ministry of Mining) <大臣: Dan Kazuhg 氏>がある。

(2) 基本政策

- 2012年8月、エネルギー省 (Ministry of Energy) が「国家エネルギー政策 (National Energy Policy)」第5ドラフトを策定した。2007年ケニア政府が発表した「Kenya Vision 2030」に沿っており、環境を保護・保全しつつ、国家及び国の発展ニーズを満足させるために、安全、安価、持続可能な信頼できる十分なエネルギー供給を確保することとしている。

(3) 最近の動向

- 2014年10月、140MWのOlkaria IV地熱発電所が稼働を開始した。これにより同国の地熱発電容量は約350MWとなった。
- 同国の歳入庁 ((Revenue Authority) は2015年1月12日、同年から同国の石油・ガス鉱区をFarm-outする企業にはCapital gain taxを課すと発表した。同庁によれば、同国に居住する会社には30%、非居住会社には37.5%を課すとしている。
- 2015年2月、Lamu州のIssa Timammy知事およびAbu Chiaba上院議員らが条件付きで発電容量960MWの石炭火力発電所の建設を承認した。20億ドルの予算で同国のGulf Energy社とCentum Investment社を中心とするコンソーシアムによって建設される。
- 2015年5月、電気接続料金をKenya Shilling (KES) 35,000からKES15,000(約153ドル)に下げた。2017年には発電設備を2,152MWから5,000MWまで増強し、電気利用人口割合を倍増の70%にする計画である。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2015年2月、東芝は豊田通商や韓国・現代エンジニアリングと共同で、ケニア電力公社から受注したOlkaria 1号、4号地熱発電所の運転を開始した。Olkaria 1号、4号は、ケニアの総発電設備容量の約20%に当たる280MWの供給能力があり、同国最大の地熱発電所となる。東芝は、2013年に70MWの地熱蒸気タービンと発電機を4セット納入した。
- 2016年8月、第6回アフリカ開発会議において、三菱商事はフランスTotalや日本貿易保険と組み、ケニア中部で40MW規模のメガソーラー(大規模太陽光発電所)の建設・運営に関する覚書を交わした。
- 同時に、豊田通商は2013年に始まった地熱発電の事業拡大に向けた調査を開始した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Kenya

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		24 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.53 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.48 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		83 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		12.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.28 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	1 %
	石油	16 %
	天然ガス	16 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	82 %
(8) エネルギーの輸入依存度		17 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA